

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会・会報

2005年12月4日

31号

日本におけるドイツ年記念
ドイツフェスティバル
in ぐんま特集

発行者 平形 義人
発行所 ぐんま日独協会

〒377-0007
渋川市石原町966 母心堂平形眼科
☎0279-22-0149 Fax0279-24-6867



ドイツフェスティバル in ぐんまセレモニー
(2005年7月12日 群馬県庁1階県民ホール)

■ハイマート31号	目次	頁
☆ ドイツフェスティバル in ぐんま		1
☆ 平形義人会長挨拶		2
☆ フェスティバルスナップ		3
☆ ドイツ大使からのお礼状		4
☆ ドイツ年記念事業のまとめ		5
☆ 事業及び会計報告		6
☆ 記念事業紹介		7
☆ マスコミ報道紹介		8
☆ お知らせ		8

<写真右側から>

- 小寺 弘之 群馬県知事
- ベアーテ・V・デア・オステン ドイツ大使館翻訳部長
- ヘンリック・シュミーゲロー 駐日ドイツ大使
- 木村元駐独大使夫人
- 中澤 敬 草津町長
- 鈴木 守 群馬大学長
- 塚越 平人 ぐんま日独協会副会長
- 平形 義人 ぐんま日独協会会長
- 中村 紀雄 群馬県議会議長
- 川島 孝一 ぐんま日独協会常務理事

R100

PRINTED WITH
SOY INK

古紙配合率100%再生紙を使用しています この会報は大豆由来のインクで印刷されています

題字：平形 義人 写真：澤井 祐輔

ぐんまにおけるドイツ年

会長 平形 義人

1993年9月天皇后陛下がドイツを訪問され、97年4月にはヘルツォーク大統領が国賓として来日され、5年前の1999/2000年はJAPAN IN DEUTSCHLAND（ドイツにおける日本年）で『21世紀における日独の新たな出会い』をテーマとし、明治維新以降の日本近代化の歴史に改めて友好の絆を深めることが出来ました。

わがぐんま日独も2003年のブラウンシュヴァイクの独日協会総会には20人のGRUPPEにて訪独し、ベルリン、フランクフルトamメイン、ケルン、ミュンヘンを訪問し、ケルンのドームやノイシュヴァンシュタイン、フラウエンキルヒェに感動し、各地の歴史や文化に触れ、現地の人々の親切に感動して帰りました。

2003年全国日独協会連合会長は樋口広太郎会長から古森重隆会長（富士写真フィルム社長）に替わり、“DEUTSCHLAND in Japan 2005/2006”を迎えることとなり、名誉総裁皇太子殿下の下に中曽根康弘推進委員長として05. 4. 4東京六本木ハイアットホテルにてケーラー独大統領夫妻をお迎えして、小泉総理の“日独親善交流は永遠なり”との折柄の寒風についての演説に開幕しました。それより早く05. 3. 25にはボンの叙叙に輝くFrau Mönch女史を団長とする独日協会 90人が来日して05. 3. 22宇都宮市に於て全国独

日協会<写真①>連合会が開かれ、続いて開催されたとちぎ日独協会大会（23/24）が日本/独年の幕開けとなり、（25/26）には館林、伊香保、（福一、金太夫ホテル）高崎（少林山達磨寺一洗心亭、タウト記念館、創造学園大学<写真②>）、観音山の高崎市立染料植物園）に来訪され、豊橋・名古屋万博を巡回され、特にぐんま日独対島良一副会長には全コースを奉仕して頂きました。

4月13日に愛地球博覧会に豊橋、名古屋、日独協会等の応援を得て、ドイツ館オープン式に招かれ、平形と鈴木事務局長が参加、日本晴れの好日にドイツ館と日本館を時間をかけてみて参りました。

この間ぐんま日独のドイツ年の催しは一刻も忘れることが出来ませんでした。4月開幕と同時に、ドイツ環境・観光展を中心に県庁県民ひろばをお借りして開催する予定を一年前から交渉中でしたのが、ドイツの環境展の準備が六月にずれこみ、それでは全国幕開けの立派な環境展を県民の皆様にも、又全国の同志にも御覧頂こうと7/12~18開催となった次第です。

以下写真に依って御高覧下され度、どの場面も会員皆様様の努力と、寛容なる県御当局の御指導と、御参加皆様様の御協力の結晶であるところから感謝申上げる次第で御座います。



ぐんま日独クリスマス会 ～講演とミニコンサートのつどい～

下記のような会が行われます

★日 時 平成17年12月4日(日) 12:00~16:00
★場 所 群馬会館地下レストラン
★主 催 ぐんま日独協会
★会 費 4,000円
★日 程 12:00~13:00 昼食
13:00~13:45 講演
14:00~15:00 ミニコンサート
15:00~16:00 歓談

<講演会>

テーマ ▶ 森林環境の保全
講演者 ▶ 群馬県環境アドバイザー連絡協議会
代表 鈴木 克彬氏

<ミニコンサート>

ハーモニカ ▶ 河合 齊さん
電子ピアノ ▶ 宮下あずささん

南ドイツ民族舞踊グループの来県

平成17年10月20日(木)~22日(土)にかけて南ドイツシュットガルト市近辺の踊りグループ15名が来県され、前橋市フォークダンス協会との交流・交歓会が行われました。ぐんま日独協会としても、佐藤副会長、北爪副会長、鈴木事務局長夫妻、木暮澤子さん、マリア黒澤さん、スピッツさん等が参加・協力されました。



2005年10月21日 上毛新聞

軽快な踊り互いに披露
ドイツの民族舞踊グループが、20日(木)から22日(土)にかけて、群馬県に滞在し、前橋市フォークダンス協会との交流・交歓会が行われました。このグループは、南ドイツのシュットガルト市近辺に所属する15名のメンバーで構成されています。彼らは、伝統的な民族舞踊を軽快なリズムで披露し、会場を大いに盛り上げました。ぐんま日独協会では、佐藤副会長、北爪副会長、鈴木事務局長夫妻、木暮澤子さん、マリア黒澤さん、スピッツさん等が参加・協力しました。

ドイツフェスティバル in ぐんま スナッフ

～群馬県庁1階県民ホール～ 平成17年(2005)7月12日(火)～18日(月・祝) 7日間



ドイツ環境ポスター展



テディベアに見入るシュミーゲロー大使と小寺知事



ドイツ観光ポスター展(説明: 対島副会長)



県庁ビジターセンターで行われた講演会



ベルツ記念碑拓本前に立つ木村元駐独日本大使



ドイツ車29台の展示



朔太郎ジュニアオーケストラの演奏



南ドイツの民族舞踊(前橋市フォークダンス協会)

ドイツ大使からのお礼状

2005年7月12日にご来県いただいたシュミゲロー駐日ドイツ大使からぐんま日独協会平形会長及び鈴木事務局長宛、下記のようなお礼状が送付されましたのでご紹介致します。

(訳文)

〒377-0007
群馬県渋川市石原 966
母心堂 平形医院眼科
平形義人様

東京、2005年7月19日

拝啓

先般、貴県を訪れた日は忘れがたい一日となりました。これも平形様のお蔭であり、ここに本書状をもって、今一度御礼申し上げます。新幹線の切符の御手配から終日の同行にいたるまで、これまでほとんど体験したことのない大変なご接待を賜りました。更に平形様が日独関係のため市民レベルで多大なご尽力をしておられることに深い感謝を受けました。「ドイツフェスティバル in ぐんま」が大きな成功を収めるものと確信しております。

また、達磨寺にあるタウトの住居の訪問は特に印象深いものでした。当地の静寂さと美しさは、タウトが日本の文化をこよなく愛するようになった理由を物語るものだと思います。

平形様が夏の期間に十分ご静養されますことをお祈りし、今一度衷心より御礼申し上げます。

敬具

ドイツ連邦共和国大使
ヘンリク・シュミゲロー
(署名)

Tokyo, den 19. Juli 2005

Herrn
Dr. Yoshito Hirakata
Präsident der JDG Gunma
Ishihara 966
Shibukawa-shi
377-0007 Gunma-ken

Sehr verehrter Herr Dr. Hirakata,

mit diesen Zeilen möchte ich mich noch einmal für den unvergeßlichen Tag bedanken, den Sie mir in Ihrer Präfektur bereitet haben. Ihre Gastfreundschaft – angefangen von den Zugtickets und der ganztägigen persönlichen Begleitung durch Sie – war so herzlich, wie ich Sie selten erlebt habe. Zudem hat es mich tief beeindruckt, mit welchem Engagement Sie die japanisch-deutschen Beziehungen auf Bürgerebene vorantreiben. Ich bin davon überzeugt, daß das „Deutschlandfestival in Gunma“ ein großer Erfolg wird.

Ganz besonders habe ich auch den Besuch in Tauts Wohnhaus im Daruma-Tempel genossen. Die Stille und Schönheit dieses Ortes lassen einen nachvollziehen, warum Bruno Taut die japanische Kultur so sehr liebte.

Ich hoffe und wünsche, daß Sie nun erholsame Sommerwochen vor sich haben werden und verbleibe mit nochmaligem herzlichem Dank und freundlichen Grüßen

Henrik Schmiegelow

(訳文)

東京、2005年7月19日

〒371-0106
群馬県勢多郡富土見村石井 2445-219
ぐんま日独協会事務局長
鈴木 克彬 様

拝啓

先日の貴県訪問に際して賜りました篤いご歓迎に対し、この書状にて改めて御礼を申し上げたく存じます。貴日独協会が市民レベルでの日独友好を進めておられるご熱意に接し、深い感謝を受けました。観光から環境にまで、さらにはベルツやブルー・タウトから木製玩具やドイツパンにまで及ぶ多様な個別行事をひとつにまとめるには、多大なご苦労があったと推察いたします。このような大規模なプロジェクトが実現したのは、ひとえに鈴木様のご尽力の賜物でございます。ここに改めて感謝の念をお伝えいたします。その反響の大ききから察しますに、「群馬ドイツフェスティバル」が多大なご成功を収めますことを確信しております。

暮さぬしき折ながら、ますますのご健康をお祈りいたしますとともに、重ねて御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

敬具

ドイツ連邦共和国大使
ヘンリク・シュミゲロー
(署名)

Tokyo, den 19. Juli 2005

Herrn
Katsuaki Suzuki
Geschäftsführer der JDG Gunma
2445-219 Ishii,
Fujimi-mura
Seta-gun
371-0105 Gunma-ken

Sehr geehrter Herr Suzuki,

mit diesen Zeilen möchte ich mich noch einmal für den überaus herzlichen Empfang bedanken, den Sie mir bei meinem Besuch der Präfektur Gunma bereitet haben. Es hat mich tief beeindruckt, mit welchem Engagement Sie die japanisch-deutschen Beziehungen auf Bürgerebene vorantreiben. Enorme Anstrengungen waren nötig, um eine solche Vielzahl von Einzelausstellungen – von Tourismus bis Umwelt, über Bälz und Bruno Taut bis hin zu Holzspielzeug und deutschem Brot – unter einem Dach zusammenzufassen. Daß ein solches Großprojekt möglich wurde, ist vor allem auf Ihre Initiative zurückzuführen, wofür ich Ihnen erneut meinen allerherzlichsten Dank ausspreche. Ich bin davon überzeugt, daß das „Deutschlandfestival in Gunma“, dem man anmerkt, von wieviel Begeisterung es getragen wird, ein großer Erfolg wird.

Ich hoffe und wünsche, daß Sie nun erholsame Sommerwochen vor sich haben werden und verbleibe mit nochmaligem herzlichem Dank und freundlichen Grüßen

Henrik Schmiegelow

ドイツ年記念事業の総括・まとめ

ぐんま日独協会 会長 平形 義人

ぐんま日独のオープニングに、ヘンリック・シュミゲロー大使が、ご多忙中にも拘らず、御来県下さいました。大使は前日、愛知万博に天皇陛下を奉迎されて、名古屋5:00PM発の“のぞみ”で御帰りの翌朝ぐんまにかけつけられた由承りまして、心から感謝申し上げます次第です。名通訳のBeate von der Ostenさんが式典の方も受持たれる由にて、Uwe Kaestner大使の草津訪問以来の群馬通の味方。大使の御懇篤な御挨拶からしても、群馬への温かいメッセージと有難く存じ特に掲載させました。全国日独協会連合会会長代行木村敬三先生、花井清常任理事、河村・宮井・宮藤・諸先生を始めとし、香川県会長 中村敏子、長崎県会長 松田源治夫妻、日本国際医学協会 都築正和夫妻等、関東の諸先生以外は宿泊して御覧下され、特に32Fの県庁舎を夜10時迄公開サービスする県民性を誉めて頂きました。ぐんま日独協会会員も、県庁を我が家の様に愛する気持ちになりました。特に群馬県国際課の皆様が早朝から毎晩遅くまで、日曜祭日も休みなく指導監督を頂き、恙なく1万5千人にも及んだ7日間の来場者にも拘らず皆様無事に大会を済ますことが出来ました。

特に観光展の案内には在独経験のある会員が当り、環境展は群馬県の得意とする所で県民の皆様の注目するところでした。之は県内外各地に引続き展覧されるについて、ぐんまの会員の沢井さんなどが中心で、丈夫な枠組みをつくったりして、全県回覧の便利をはかりました。

沼田市とフツセン市は姉妹都市で今秋は約70人がドイツを訪問され西田治司会長は大多忙、草津のピーティッヒハイムピッシンゲン市との姉妹都市として又エルビン・V・ベルツ博士の顕彰のため沖津弘良ベルツ記念館長が一週間前橋に泊り込みで展覧を安全に完

全に守って下さいました。

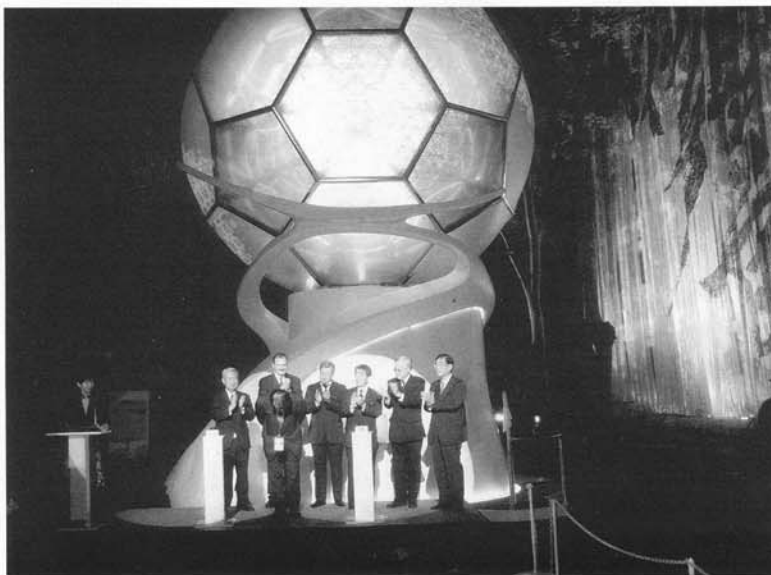
ドイツの紹介の意味で楽歩堂のドイツ靴実験コーナーは朝から列が出来、ドイツパン・ソーセージは売切、テディベア展、木製おもちゃ展、こだわり紅茶、ドイツ菓子、クッキーの販売等、来会者に喜ばれました。特に最後の連休3日間には県庁前県民広場まで借りてのドイツ車29台のフェアであり、ドイツ民族舞踊(フォークダンス)や朔太郎ジュニアオーケストラの出演もあり、群馬大学や県立女子大学生のボランティア活動を含めて全期間盛況の日々でした。

この盛況は県内外の各界有志の御支援と、上毛新聞を始め各社のニュース、NHKやGTV、各種公報から前橋・高崎・伊勢崎のパリスニュースに迄報道され、最後はグラフぐんま8月号に『県民ホールはドイツ一色』で総括して頂きました。尚忘れられないのは(財)日独協会の機関紙Die Brückeの9月号の表紙に飾られ、特別寄稿欄に報道していただき、広く日独両国に伝えて頂いたことです。

日本/ドイツ 2005/6年は、今正に全国に展開中です。10月20日の千葉大樺会館のオープニングは立派でした。神戸、香川、奈良その他から御案内を頂いています。明年6月のドイツでのワールドカップのD・houseはドイツ大使館隣(旧自治大学跡)に夜も照明で輝いています。日独親善友好の促進を祈りつつ――

Danke schön!! (感謝)

附記：群馬県の環境問題の前進・改善の為にドイツ環境展は目下県内外を巡回中です。御希望の方は、ぐんま日独協会事務局長鈴木(027-288-4297)へ御申込み下さい。製作を担当されたECOS(エコス)社に敬意を表します。



サッカーワールドカップW杯(オブジェ高さ9m)が東西ドイツ統合記念日(10月3日)に東京広尾の旧自治大学校玄関前広場に出現した。中央はテーブカットのH.シュミゲロー大使、オリンピックの聖火リレーの様に主要国を巡り、'06年6月にはドイツに輝く。11月7日にトルコへ出発。作者アンドレ・ヘラー氏(写真:平形 義人)

ドイツフェスティバル in ぐんま事業及び会計報告

ぐんま日独協会 事務局長 鈴木 克彬

今回のドイツフェスティバルは、会員皆様のご協力・お力添えを得て、何のトラブルもなく、無事終了することが出来ました。改めてお礼申し上げます。

このイベントに関しては、ぐんま日独協会として約一年前から企画準備に入りました。その間、駐日ドイツ大使館、ドイツ観光局、日独文化センター、(財)日独協会とも種々の協議を行うとともに、群馬県国際課をはじめ県内関係機関・企業等のご協力も得て、右下チラシの催しを行うことが出来ました。また、会員の多くの方々からご寄付をいただきました。重ねてお礼申し上げます。以下、催しの要約をコメント致します。

コメント要約

1. 来訪者は、7月12日(火)から18日(月・祝)の7日間、平日で一日1,000名以上、土・日・祭日は一日3,000名以上と大盛況で、延14,500名を数えた。
2. メニューについては、多面性に配慮した。環境展・観光展・ベルツ展・タウト展等勉学志向のもの、木製おもちゃ・テディベア等女性・子供達に愛される楽しいもの、ドイツパン・ソーセージ等の食品やお土産、幅広く人気のあるドイツ車、目で見て楽しい民族舞踊、朝太郎J.R.オーケストラのドイツ音楽等多岐にわたる内容とした。
3. 県民への啓発・PRについては、多くの関係機関のご配慮をいただき、広範囲にイベントの案内をすることが出来た。パブリッシュやヴィアンというタウ

ン紙の特集記事、群馬県内全家庭に配布される『ぐんま広報』での紹介、群馬テレビ・FMぐんま・上毛新聞でのイベント紹介等、次々と報道された。

4. 今回のイベントでは『こだわり』と『清潔さ』を二本柱とした。その結果皆様のご協力をいただき、パネル等展示物の並べ方にしても、ユニークさが随処に見られた。

また、このイベントでは“ゴミゼロ”を目指したため、ごみの後片付けの作業は、一度も経験せず、となった。

5. 今回のイベントでは、啓発用チラシと当日配布のパンフレットのデザイン・印刷に重点を置き、特に清潔さにこだわった。概ね好評。
6. 7月12日に行われたセレモニーでは、シュミノーグラー駐日ドイツ大使をはじめ、多くのご来賓を迎え、盛大に行われた。尚、その際火曜日にも拘らず南橋中学校ブラスバンド部、清心幼稚園の特別出演があり、ご来賓に大きな感動を与えることが出来た。
7. 群馬大学・県立女子大学・高崎経済大学等、学生ボランティアの協力(延70名)を得ることが出来た。若い方に国際理解・ドイツへの愛情等の機会を提供出来たとすれば幸いである。

以上

収支報告

収入 支出 残額
1,956,754 - 1,940,521 = 16,233

<内訳>

◎収入	ぐんま日独協会からの繰り入れ	150,000
	各種助成金	490,000
	会員特別寄付	660,300
	ドイツ菓子販売手数料	197,424
	塩・マイバッグ売上	309,200
	バッグ・環境資料売上	144,900
	合計	1,956,754
◎支出	会議費	22,310
	交際接待費	119,554
	交通・通信費	109,444
	印刷費	746,922
	名札製作費	29,670
	マイバッグ費	178,580
	運搬費	90,080
	アルペンザルツ仕入費	271,509
	係員昼食費	133,110
	謝礼	50,000
	会場準備・整備費	116,361
	写真費	18,062
	雑費	54,919
	合計	1,940,521

日本におけるドイツ年記念

ドイツフェスティバル in ぐんま

ドイツをもっと知ろう!



ドイツ環境展、観光展
ブルーノ・タウト展、ベルツ展
ドイツ車フェア
テディベア・木製おもちゃ展 他

7月12日(火)～18日(月・祝)
群馬県庁1F市民ホール(1日会場)

**2005
2006**
Deutschland
in Japan
日本における
ドイツ

ドイツ環境展
ドイツ観光局駐日文化センター協賛
ドイツ観光局
ベルツ展
タウト展
ドイツ観光局協賛の観光・観光(タウト展特別展)
ベルツ展
ベルツ展協賛の観光・観光(ベルツ展特別展)
姉妹都市紹介
環境・観光・ドイツの観光地紹介
テディベア展
木製おもちゃ展
木製おもちゃ展
ドイツ・ドイツ年記念の中心地・観光(高崎市観光局)
ドイツ・ドイツ年記念の中心地・観光(高崎市観光局)
ドイツ・ドイツ年記念の中心地・観光(高崎市観光局)

7月18日(月)～18日(月)
群馬県庁前原広場(1日会場)

ドイツ車フェア
最新のドイツ車を一挙に展示
ドイツ自動車協会の展示
高崎市ドイツ車協会主催
子どもたちのドイツ音楽
展示・演奏会

期間/平成17年7月12日(火)～18日(月・祝)
会場/群馬県庁1F市民ホール、群馬県庁前原広場
主催/ぐんま日独協会
後援/ドイツ大使館、日独協会、群馬県、高崎市長官民交流協会、高崎市、群馬県民交流協会、高崎市、高崎市国際交流協会、高崎市、高崎市、伊勢保、上毛新聞社、群馬テレビ、高崎放送局、FMぐんま、協賛/日本国際医学協会、少林寺、高崎学院大学、タウト会、ブルーノ・タウト工芸展実行委員会、群馬県自動車販売協会、カドリー・ヘア・アテン

記念事業紹介

☆沼田市フュッセン姉妹都市交流事業

— 59名がドイツ・アウグスブルク市とフュッセン市を訪問 —

沼田市・フュッセン市姉妹都市提携10周年記念「フュッセン市訪問の旅」に参加して

沼田市 川田正彦(ぐんま日独協会常務理事)

本年は、沼田市とドイツ・バイエルン州フュッセン市との国際姉妹都市提携10周年にあたります。これまで行政代表団の相互訪問、小中学生の絵画交流、全国植樹祭へのフュッセン市長やアルペンホルン奏者の参加、長野オリンピック冬季大会に出場したフュッセン市のカーリング選手団との交流。また、平成12年の姉妹都市提携5周年では、両市長をはじめとする相互訪問、沼田市からは未来特使訪問団として市内小中学校の代表や、文化使節として沼須人形芝居あけぼの座の皆さんがフュッセン市を訪問し、昨年は沼田まつりにガングル市長ご夫妻が参加されるなど、さまざまな交流が行われてきました。今回、両市の交流をより一層活発にし、友好のきずなを深めるため、沼田市の代表59人がフュッセン市を訪問しました。今回の訪問団は、星野已喜雄市長、星野佐善太議長、西田治司国際交流協会長と同協会が募集した市民参加者からなる「市民交流団」の皆さんで構成され、一行は10月17日・18日とフュッセン市を訪れ、記念式典などに参加、フュッセン市民と親しく交流を行いました。この交流のほか、ノイシュヴァンシュタイン城、ドイツロマンチック街道、アウグスブルグ市の訪問、古城街道沿いの魅力たっぷりの町の見学や、オーストリア観光なども行いました。(後日、記します。)

☆日本におけるドイツ年記念

— 南独けんぶん記 —

当協会理事鈴木和子さんの南ドイツ見聞記が平成17年7月4日をスタートに毎週金曜日上毛新聞の文化欄(34頁)に連載されています。

回数は20回でその内訳は次の通りです。

1. ドイツのパン
2. ドイツのソーセージ
3. ホワイトアスパラガス
4. 子どもと犬のしつけは…
5. 雨水をためて…
6. ドイツ人とお米
7. 照明の演出
8. 踏切はノンストップ
9. 人も機械もない駅の入り口
10. オクトーバーフェスト
11. 自動販売機
12. スーパーのレジ袋
13. 素肌美の若い女性たち
14. ドイツの靴
15. くまさんのグミ
16. パーク アンド ライド
17. 教会中心の街づくり
18. 自然環境の保護
19. 環境教育は小さい時から
20. 居心地がよいということ

以上

☆植村 理葉

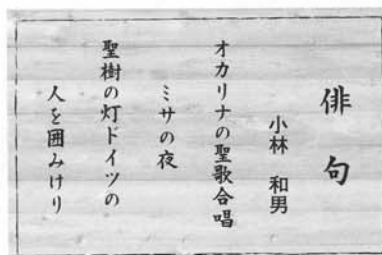
— ヴァイオリンリサイタル —

17年7月27日(水)前橋、31日(日)桐生の両日、植村さん(在ベルリン)のヴァイオリンリサイタルが行われ、その演奏は素晴らしく参加された多くの方々に深い感銘を与えました。

ご協力いただいた方にお礼申し上げます。



深い感動を与えた植村理葉さん



ドイツフェスティバル in ぐんま

次のように報道されました

グラフぐんま



県民ホールは
ドイツフェスティバルinぐんま
環境、観光がメインテーマ

ドイツ色
ドイツフェスティバルinぐんま



グラフぐんま平成17年8月号

群馬県広報(ぐんま広報)

ドイツフェスティバル inぐんま



ぐんま日独協会 事務局長
鈴木 克彬さん

ドイツのこだわりを伝えたい

今年は、ドイツ年。合理性と、ものづくりへのこだわりを大切にドイツの文化に触れてみませんか。日本初となるドイツ環境省制作ポスター25枚の展示のほか、最後の3日間は最新のドイツ車約30台が、県庁県民広場に集まります。また、最高級の紅茶の試飲やハム、ソーセージの即売など、ご家族で楽しめるイベントがめじろ押し。

わたし自身、ドイツに何度も足を運び、その素晴らしい体験してきました。ぜひ皆さんも、ドイツ色に染まった会場で、その魅力を実感してください。

平成17年7月3日号
県内76万部印刷配布

上毛新聞

環境と観光をテーマにした「ドイツフェスティバルinぐんま」(ぐんま日独協会主催)が土曜、県庁で始まった。パネル展やドイツ色の販売、多くの市民が訪れる。開会にはヘンリック・シューテロー、大使が旗、前橋・南郷中交歓委員の演説は、建物のタワや

群馬とのゆかり知って

「ドイツフェスティバル」は、18日まで県庁で開く。会場には、最新のドイツ車約30台が展示される。また、最高級の紅茶の試飲やハム、ソーセージの即売など、ご家族で楽しめるイベントがめじろ押し。



2005年7月13日
上毛新聞
県内32万部発行

前田 勇常任理事が平成17年10月26日
群馬県警察特別功労者表彰を受賞されました。

【新会員募集中】

年会費法人 ¥10,000 個人 ¥3,000 家族 ¥500
希望者は下記へご連絡下さい。
〒377-0007 渋川市石原966 母心堂 平形眼科方
TEL.0279-22-0149 FAX.0279-24-6867

その他

NHK、群馬テレビで放映、FMぐんまでも紹介されました。

◇原稿ご案内◇

日独交流につながるご感想・情報・会員消息・作品を住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただくことがあります。(800字以内)

編集責任者(川島孝一)